

2 月下知地区減災連絡会講演会のお知らせ

南海トラフ地震が発生した場合、高知市市街地は最大2M地盤が沈下します。浸水想定地域は、高知城から東の市街地地区。広域下水排水施設が浸水地域の浦戸湾に面した下知と潮江にあることは、災害後の高知市の復旧・復興に大きな足かせになると村山和彦氏は指摘しています。

現在高知市内の周辺市街地(海拔の高い浸水しない地域)の下水全てを下知・潮江の下水処理場で処理しています。南海地震で地盤が沈下しますと、より負荷のかかる排水しないといけません。水没地域(下知・潮江)の浸水が解消され、地中の配水管や排水設備の点検・修理が完了しない限り浸水していない地域も水道が使用できませんし、水洗トイレが使用できません。それが半年後なのか1年後になるのかわかりません。全市的な深刻な課題です。

上町に下水処理場を事前復興計画でこしらえるべき

南海トラフ地震後には、なぎさ線(海拔0メートル)が、南海トラフ地震後は上町あたりになります。対策はなぎさ線の地域に下水処理場を3つぐらい事前に建設し、海拔の高い地域の下水は下知と分断して流すということです。いち早く高知市の復旧・復興が達成されることでしょう。

「事前復興計画と下水の話」講演会

(日時) 2020年2月15日(土曜日)午後6時から

(場所) 下知コミュニティ・センター4階多目的室(駐車場はありません)

(講師) 村山和彦氏・技術士(都市計画)

(主催) 下知地区減災連絡会(問合わせ・副会長西村・088-882-1626)

ゆうあい工房 溝渕 090-4783-0894



講師プロフィール

千葉県習志野市在住(1935年生まれ)
早稲田大学工学部卒 熊谷組都市建設部
技術士(都市計画)
地域通貨ピーナッツの立役者・南三陸町復興計画立案者
趣味はテニス・社交ダンス